様式第２号の１－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人　山内学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
服飾専門課程	ファッションクリエイティブデザイン科	夜・通信	88 単位	10 単位	
	ファッションデザイン科	夜・通信	70 単位	7 単位	
	ファッションテクニカル科	夜・通信	68 単位	7 単位	
	ファッションビジネス科ショッププランニングコース	夜・通信	62 単位	7 単位	
	ファションビジネス科ファッションコーディネートコース	夜・通信	62 単位	7 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

・シラバス設置（教室・職員室・事務室）
・HP 掲載（公開資料：https://koran.jp/about/public_material/）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人　山内学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP 掲載(公開資料：https://koran.jp/about/public_material/)

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医師・病院名誉院長	令和７年６月７日から令和11年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結のときまで	ガバナンス強化
非常勤	会社経営	〃	財務改善の助言
非常勤	弁護士	〃	コンプライアンス体制の整備
（備考）			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人　山内学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) HP に掲載（公開資料：hppts://koran. jp/about/public_material/) 11 月：教務担当より全教員にシラバスの雛形を提示。教育課程編成委員会への進言を基に骨子を学科毎に検討。それを基にシラバスの再検討をする。 12 月：学科毎に、各授業担当者に新年度シラバス作成を依頼する。 1 月～2 月：各学科は、新年度シラバスを校長に提示し、全体の方向性などを確認。校長より許可(承認)をもらう。 3 月：教職員で最終チェックを行い、修正があれば訂正し製本をする。 4 月：新年度、学生に対しシラバスを公開する。 5 月：本校 WEB サイト(HP)にて公開する。

授業計画書の公表方法	HP 掲載:https://koran.jp/about/bublic_material/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・授業科目の進級・卒業の認定及び評価。 ・定期試験の受験資格等は、学生要覧に掲載し配布。また、入学後のオリエンテーションでも説明を行う。 ・学生の学習成果に基づき、秀(90 点以上)、優(80～89 点)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(59 点以下)の評価を用いて適正に成績授与している。また、シラバスにおいても成績評価方法の欄を設け、予め明示している。 ・基本、留年を良しとしていないが、仮に点数が満たされていない場合、追試、補講、補習を行い、点数が満たされた時点で進級・卒業判定会議にて、本人の意向と学校基準を照らし合せ、進級・卒業か留年を判断する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ・客観的な指数として、進級及び卒業判定会議において、判定材料となる学生毎の全教科の成績合計値と平均値を明示し、クラスの成績順を決定。 元データは、学生管理システムで管理している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HP 掲載：https://koran.jp/about/public_material/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 全学科において、教育目標を設定している。また、卒業の認定にあたっては、全学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。 【卒業要領（学生要覧に記載）】 ①授業料を納付している。 ②シラバスに指定されている規定の課題が提出されている。 ③前後期ともに、2／3 以上出席している。 ④シラバスで開示されている受験科目の定期試験を受検し、不可でないこと。 但し、追再試で合格すれば可とする。 ⑤①～④の条件を全てみたし、卒業判定会議にて卒業に値すると判断された場合。 ・成績基準：Ⅰ・実習点　Ⅱ・出席点　Ⅲ・課題点　Ⅳ・前後期試験点	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HP 掲載：https://koran.jp/about/public_material/

様式第２号の４－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人　山内学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://koran.jp/about/public_material/
収支計算書又は損益計算書	https://koran.jp/about/public_material/
財産目録	https://koran.jp/about/public_material/
事業報告書	https://koran.jp/about/public_material/
監事による監査報告（書）	https://koran.jp/about/public_material/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションクリエイティブデザイン科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	１０５単位	8単位	74単位	23単位		
			１０５単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	94人	0人	5人	8人	13人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第２号の３より再掲】11月より教務担当から全職員にシラバスの雛形を掲示。教育課程編成委員会の助言を元に骨子を検討し、次年度分のシラバス見直し作成。再チェック、修正後製本し、4月に学生に5月にはHPにて公開する。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第２号の３より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に基準となる成績合計値と平均値により、学生管理システムにてクラス内の成績順位を決定している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第２号の３より再掲】全ての学科において、教育目標を設定している。また、進級・卒業の判定においては、全ての学科に卒業要領が設定され、進級・卒業判定会議を経て、進級・卒業を認定している。

学修支援等
（概要）学生相談や就職指導においては、クラス担任と定期的に面談を行っている。必要があれば、スクールカウンセラーやキャリアコンサルトでの対応を行う。その他、補習授業や個別指導なども随時実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33 人 （100%）	1 人 （ 3.0%）	30 人 （ 90.9%）	2 人 （ 6.1%）
（主な就職、業界等） ・アパレル製造業　・アパレル企画　・卸/小売業　・サービス業　等			
（就職指導内容） ・履歴書添削指導　・面接及びグループディスカッション対策　等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・パターンメーキング技術検定　・ファッション色彩能力検定 ・ファッション販売検定　等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	6 人	15.4%
（中途退学の主な理由） ・一身上の都合　・家庭の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個人面談や保護者との三者面談の実施 ・スクールカウンセラーによるカウンセリング　等		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	ファッション デザイン科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	70単位	6単位	48単位	16単位		
			70単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	58人	3人	4人	7人	11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月より教務担当から全職員にシラバスの雛形を掲示。教育課程編成委員会の助言を元に骨子を検討し、次年度分のシラバス見直し作成。再チェック、修正後製本し、4月に学生に5月にはHPにて公開する。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に基準となる成績合計値と平均値により、学生管理システムにてクラス内の成績順位を決定している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において、教育目標を設定している。また、進級・卒業の判定においては、全ての学科に卒業要領が設定され、進級・卒業判定会議を経て、進級・卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談や就職指導においては、クラス担任と定期的に面談を行っている。必要があれば、スクールカウンセラーやキャリアコンサルトでの対応を行う。その他、補習授業や個別指導なども随時実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	1人 (4.8%)	18人 (85.7%)	2人 (9.5%)
（主な就職、業界等） ・アパレル製造業　・アパレル企画　・卸/小売業　・サービス業　等			

（就職指導内容） ・履歴書添削指導　・面接及びグループディスカッション対策　等
（主な学修成果（資格・検定等）） ・パターンメーキング技術検定　・ファッション色彩能力検定 ・ファッション販売検定　等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	11 人	33.3%
（中途退学の主な理由） ・一身上の都合　・病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個人面談や保護者との三者面談の実施 ・スクールカウンセラーによるカウンセリング　等		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	ファッション テクニカル科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	68単位	8単位	31単位	29単位		
			68単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	53人	0人	4人	7人	11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月より教務担当から全職員にシラバスの雛形を掲示。教育課程編成委員会の助言を元に骨子を検討し、次年度分のシラバス見直し作成。再チェック、修正後製本し、4月に学生に5月にはHPにて公開する。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に基準となる成績合計値と平均値により、学生管理システムにてクラス内の成績順位を決定している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において、教育目標を設定している。また、進級・卒業の判定においては、全ての学科に卒業要領が設定され、進級・卒業判定会議を経て、進級・卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談や就職指導においては、クラス担任と定期的に面談を行っている。必要があれば、スクールカウンセラーやキャリアコンサルトでの対応を行う。その他、補習授業や個別指導なども随時実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 （100%）	0人 （　0%）	24人 （　77.4%）	7人 （　22.6%）
（主な就職、業界等） ・アパレル製造業　・アパレル企画　・卸/小売業　・サービス業　等			

（就職指導内容） ・履歴書添削指導　・面接及びグループディスカッション対策　等
（主な学修成果（資格・検定等）） ・パターンメーキング技術検定　・ファッション色彩能力検定 ・ファッション販売検定　等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	1 人	2.9%
（中途退学の主な理由） ・一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個人面談や保護者との三者面談の実施 ・スクールカウンセラーによるカウンセリング　等		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	ファッション ビジネス科 ｼｮｯﾌﾟﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｰｽ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位	13単位	32単位	22単位		
			６７単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80の内数	10人	0人	3人	14人	17人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月より教務担当から全職員にシラバスの雛形を掲示。教育課程編成委員会の助言を元に骨子を検討し、次年度分のシラバス見直し作成。再チェック、修正後製本し、4月に学生に5月にはHPにて公開する。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に基準となる成績合計値と平均値により、学生管理システムにてクラス内の成績順位を決定している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において、教育目標を設定している。また、進級・卒業の判定においては、全ての学科に卒業要領が設定され、進級・卒業判定会議を経て、進級・卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談や就職指導においては、クラス担任と定期的に面談を行っている。必要があれば、スクールカウンセラーやキャリアコンサルトでの対応を行う。その他、補習授業や個別指導なども随時実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	1人 (5.6%)	13人 (72.2%)	4人 (22.2%)
（主な就職、業界等） ・アパレル小売業　等			

（就職指導内容） ・履歴書添削指導　・面接及びグループディスカッション対策　等
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ファッション販売検定　・パーソナルカラー検定 ・マーケティング検定　等
（備考）（任意記載事項） 2 年次は、ショッププランニングコースかファッションコーディネートコースのいずれかを選択し、コース別の授業となる。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	2 人	6.9%
（中途退学の主な理由） ・一身上の都合　・家庭の事情　・病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個人面談や保護者との三者面談の実施 ・スクールカウンセラーによるカウンセリング　等		

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	服飾専門課程	ファッション ビジネス科 ファッションコーディネートコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位	12単位	35単位	20単位		
			67単位				

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80の内数	6人	0人	3人	12人	15人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月より教務担当から全職員にシラバスの雛形を掲示。教育課程編成委員会の助言を元に骨子を検討し、次年度分のシラバス見直し作成。再チェック、修正後製本し、4月に学生に5月にはHPにて公開する。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に基準となる成績合計値と平均値により、学生管理システムにてクラス内の成績順位を決定している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において、教育目標を設定している。また、進級・卒業の判定においては、全ての学科に卒業要領が設定され、進級・卒業判定会議を経て、進級・卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談や就職指導においては、クラス担任と定期的に面談を行っている。必要があれば、スクールカウンセラーやキャリアコンサルトでの対応を行う。その他、補習授業や個別指導なども随時実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 （100%）	0人 （0%）	6人 （60.0%）	4人 （40.0%）
（主な就職、業界等） ・アパレル小売業　等			

（就職指導内容） ・履歴書添削指導　・面接及びグループディスカッション対策　等
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ファッション販売検定　・パーソナルカラー検定 ・マーケティング検定　等
（備考）（任意記載事項） 2 年次は、ショッププランニングコースかファッションコーディネートコースのいずれかを選択し、コース別の授業となる。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	2 人	6.9%
（中途退学の主な理由） ・一身上の都合　・家庭の事情　・病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・個人面談や保護者との三者面談の実施 ・スクールカウンセラーによるカウンセリング　等		

②学校単位の情報

a）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
ﾌｧｯｼｮﾝｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ科	200,000 円	590,000 円	443,671 円	設備費：100,000 預り金：16,000 実習費：131,000 教材費：196,671
ﾌｧｯｼｮﾝ ﾃﾞｻﾞｲﾝ科	200,000 円	590,000 円	431,784 円	設備費：100,000 預り金：17,000 実習費：130,000 教材費：184,784
ﾌｧｯｼｮﾝ ﾃｸﾆｶﾙ科	200,000 円	590,000 円	418,284 円	設備費：100,000 預り金：17,000 実習費：128,000 教材費：173,284
ﾌｧｯｼｮﾝ ﾋﾞｼﾞﾈｽ科	200,000 円	590,000 円	312,870 円	設備費：100,000 預り金：17,000 実習費：106,000 教材費：89,870

修学支援（任意記載事項）

・香蘭ファッションデザイン専門学校特待生制度
・パル井上財団奨学金企業給付奨学金
・その他、日本学生支援機構奨学金制度　等

b）学校評価

自己点検評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://koran.jp/about/public_material/

第三者評価の基本方針（実施方法・体制）

11月に、学校関係者評価員会を実施し、昨年度の反省と今年度の報告を行っている。教育活動や学生支援等の8項目について評価をいただいている。評価の改善内容を、次年度に活かしている。改善方法については、学校長が実施責任者として、各4学科主任会議を経て、12月までに立案し実施している。
学校関係者評価委員の選出区分は、ファッション業界を全体から俯瞰して見るうえで、団体の職員に2名参加して頂いている。また、企業側から各専門分野での助言をいただく為に5名、被服系高等学校家庭科教諭、本校保護者、本校卒業生より各1名の合計10名で構成している。

第三者評価の委員

所属	任期	種別
協同組合 オロシアム FUKUOKA	令和8年4月～令和9年3月	団体
一般社団法人 日本ｱﾊﾟﾚﾙ・ﾌｧｯｼｮﾝ産業協会　福岡支部	令和8年4月～令和9年3月	団体

小竹正 株式会社	令和８年４月～令和９年３月	企業
アドヴェンチャーホールディングス株式会社	令和８年４月～令和９年３月	企業
株式会社 ニッシン	令和８年４月～令和９年３月	企業
株式会社 ビーザ・ワン	令和８年４月～令和９年３月	企業
北里パターンメーキング	令和８年４月～令和９年３月	企業/卒業生
福岡県立 香椎高等学校	令和８年４月～令和９年３月	高等学校
香蘭ファッションデザイン専門学校卒業生	令和８年４月～令和９年３月	卒業生
香蘭ファッションデザイン専門学校在校生保護者	令和８年４月～令和９年３月	保護者
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://koran.jp/about/public_material/		
（備考）		

c） 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ・https://koran.jp　・学生要覧　・学校案内（ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ・募集要項含む） ・シラバス

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H140313000500
学校名（○○大学 等）	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　山内学園

1．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		97人（55）人	88人（48）人	86人（46）人
内訳	第Ⅰ区分	35人	30人	
	（うち多子世帯）	（　　－人）	（　　－人）	
	第Ⅱ区分	11人	12人	
	（うち多子世帯）	（　　－人）	（　　－人）	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
	（うち多子世帯）	（　　－人）	（　　－人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	17人	13人	
	区分外（多子世帯）	26人	26人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				86人（46）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	―人	―人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	14人	18人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	―人	―人
計	0人	15人	21人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。